



麻績神社獅子舞

東野大獅子

阿智黒丑舞

大名行列

目次

- 慢性腎臓病 (CKD) は私達の生活をおびやかす新たな「国民病」 ... 2
- 新ゆうゆうの本体が完成しました。 3
- ネットわーく
浦野耳鼻咽喉科 4
須田内科醫院 5
- かかりつけ医をお持ちですか 4～5
- 家庭でできる
リハビリテーション 6
生活の中にある、
“リハビリテーション”の要素
- 検査の窓 7
成分輸血について
- 職場紹介 7
訪問看護ステーション/訪問リハビリテーション
- 話題の広場 7
長野マラソンに 2 医師が出場
- 新任医師紹介 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え信頼される医療を実践します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに開かれた病院づくりを行います
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意 熱意 創意をもって医療を実践します

●慢性腎臓病（CKD）って何？

“新たな国民病”として「慢性腎臓病（CKD）」が注目されています。これは腎障害（たんぱく尿・血尿）や腎機能が低下している透析予備軍のことで、腎機能を低下させる最も大きな要因の「生活習慣病の増加」により、慢性腎臓病の患者さんが増えているといわれています。



腎臓内科部長 松下雅博医師

●慢性腎臓病（CKD）と心血管系合併症の関係

慢性腎臓病になると心筋梗塞や心不全、脳梗塞などの血管系合併症が発症しやすくなり、腎臓の機能が低くなればなるほどその確率も高まります。透析導入前の時点で心血管系合併症になり、それが原因で亡くなる場合も多いといわれています。

慢性腎臓病を早期に発見し治療することで、合併症を防ぎましょう。

●慢性腎臓病（CKD）の予防

慢性腎臓病の初期には、ほとんど自覚症状がありません。貧血、疲労感、むくみなどの症状が現れたときには、病気がかなり進行している可能性もあります。定期的に尿検査や血液検査を受けましょう。

肥満、運動不足、飲酒、喫煙、ストレスなどの生活習慣は、慢性腎臓病の発症に大きく関与しているといわれていますし、メタボリックシンドロームでも、慢性腎臓病の発症率が高まることが分かっています。

慢性腎臓病の治療の目的は、透析が必要な末期腎不全への進行を遅らせることと、心血管疾患になるのを防ぐことです。

そのためにも、まず生活習慣の改善が重要です。肥満の是正や減塩を心がけ、規則正しい食事、腎機能が低下した場合には低たんぱく食を摂りましょう。たばこを吸っている人は禁煙に努めてください。高血圧や糖尿病などの生活習慣病がある人は、医療機関を受診してきちんと治療をしておくことが大切です。

腎臓病の治療には、患者さんとかかりつけ医、腎臓の専門医との連携が非常に有効です。かかりつけ医は患者さんの体調をよく知っていますので、腎臓の状態が悪くなったら腎臓専門医と協力して早期発見と早期治療につなげていきます。つまり、慢性腎臓病の進行を食い止め、透析患者を増やさないための医療連携が重要となってくるわけです。

現在、飯田市立病院を含む飯田下伊那地域の専門医療機関が中心となり、地域のかかりつけ医、保健師、栄養士と連携してゆくための枠組み作りに取り組んでいます。

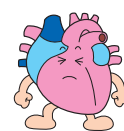
こんな人は要注意です！



高齢者



生活習慣病やメタボリックシンドロームがある



過去に心臓病や腎臓病になったことがある



家族に腎臓病の人がいる



検診などでたんぱく尿が見つかったことがある



たばこを吸っている



腎センターの様子



3/2に開催されたCKD抑制のための検討会

新ゆうゆうの本体が完成しました。

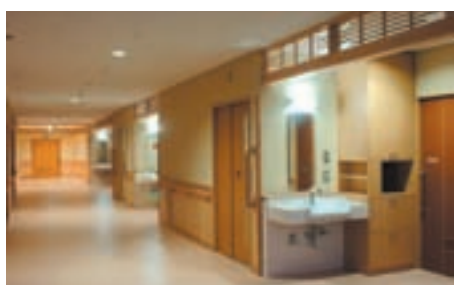
高松分院跡地に平成20年秋より建設着手した
新ゆうゆう(介護老人保健施設)の本体部分が完成しました。



新ゆうゆうは、鉄筋コンクリート構造の3階建て、延べ床面積約4,440㎡で、100名(床)の入所が可能な施設です。

施設内は地元木材がふんだんに使われ、大きな窓からやわらかな陽が差し込む明るい空間となっています。外断熱工法を採用するなど、エネルギー環境に配慮した構造にすることで、四季を通して快適で、より家庭的な生活の場を提供します。

- 1階部分は、居宅サービス部門である通所リハビリテーションや在宅介護支援センターを配置しています。また、介護教室を始め、地域と交流できる多目的スペースを設けています。
- 併設される高松診療所は最大2診体制での診察が可能となり、地域に根ざした医療を提供していきます。



- 2階部分は、一般棟52床の入所フロアです。緊急対応に備え、酸素や吸引装置を備えた居室(6室)を設けています。また、専用トイレや洗面台のほか、インターネット環境を配備するプライベート空間を備えた特別個室(4室)も設けています。

- 3階部分は、48床(4ユニット)の入所フロアです。ユニットごとに空間の演出を工夫し、落ち着いた生活スペースの中で、1ユニット12名がゆったりと、和やかな時間を過ごしていただけ環境となっています。



現在は、設備の試運転やベッド・家具の整備をしており5月21日に施設の竣工式を予定しています。また、6月より新施設を開所した後、既設ゆうゆうの解体や駐車場等の附帯整備に取り掛かる計画で整備全体が完了するのは平成23年3月末を見込んでおります。



浦野耳鼻咽喉科

(飯田市大久保町)



病診連携により、より良い医療を

浦野耳鼻咽喉科 院長 浦野 光永

当院は、大正年間に祖父がこの大久保の地に、耳鼻咽喉科医院を開業して現在に至ります。

周辺は大きく様変わりしましたが、飯田市役所の南隣、市役所駐車場に面した道路を鼎方向へ進んだ隣に位置します。

私は、東邦大学医学部を卒業後、母校の耳鼻咽喉科学教室に入局し、付属大森病院で研修を終えました。その後、飯山日赤病院、共立蒲原病院、相模原協同病院、国立横須賀病院等で研鑽を積み、専門医を取得後、父が体調を崩したのを機に帰飯し、早くも20年経ちました。

耳鼻咽喉科という領域は、耳・鼻・のどの病気を治療しますが、

近年その病気の種類や、例えば扁桃腺の手術をするしないなどという考え方で大きく変わって来ました。特に鼻では、昔多かった蓄膿症が減り、花粉症などのアレルギー性鼻炎が非常に増えました。学校医として小中学校をいくつか担当していますが、アレルギー性鼻炎と気づかずに放置されている児童生徒さんが多いように思われます。私のモットーとして、特にアレルギー性鼻炎に対しては細かな対応ができるように心がけて来ました。又、自分の病気が心配だが、大きな病院で検査を受けるのが怖いという方もいらっしゃいますが、精密検査や手術などが必要な患

者さんは、適切な設備の整った病院へ紹介するようにしています。

市立病院とは連携システムがしっかりとしており、スムーズにより良い検査や治療が受けられるようになっていきましたので、まず私も町医者を受診して下さい。

最後になりましたが、市立病院の全スタッフの皆さんには大変お世話になり、感謝感謝です。



浦野先生

所在地 〒395-0053 飯田市大久保町2553-1

TEL 0265-22-0310

診療科目 耳鼻咽喉科

受付時間 9:00~12:30 14:00~18:00
(土曜日は17:00まで)

往診 無

休診 日曜日 祝日

駐車場 有



かかりつけ医をお持ちですか

かかりつけ医とは、家族の日常的な診療や健康を管理してくれる身近なお医者さんの事です。皆さんが「かぜ」などの症状となった場合、わざわざ遠くの病院に行くのではなく、近所の診療所(医院)を訪れることがあると思います。そんな、「いつもの診療所(医院)」こそ、かかりつけ医なのです。



初期診療で、精密検査や専門治療・高度医療、入院などが必要となったときには、かかりつけ医は「紹介状(診療情報提供書)」とともに適切な医療機関を紹介してくれます。



登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

飯田市座光寺の旧国道沿いに新たに須田内科醫院を開業して早いもので5年が経ちました。父の死後約30年が経過していますのでほぼ新規開業のようなものです。私は昭和56年に東京医科大学を卒業後東京女子医科大学麻酔科を経て東京医大病院に約10年間勤務。その後郷里の飯田に戻り平成17年1月まで飯田病院にて主に糖尿病患者の診療に従事してきました。

新医院においては電子カルテを導入するとともに、血糖、HbA1cなどが迅速に測定できる診断機器の導入でスムーズな診療を行い患者さんの待ち時間の短縮をはかるようにしています。さら

開業5年目を迎えて

須田内科醫院 院長 須田 成彦

に来院時間帯の集中を避ける為に簡易予約の実施により待ち時間の短縮が得られていると思います。診療は専門である糖尿病患者さんが主な構成ですが、高齢化社会を反映して様々な患者さんがこられます。一人の開業医としてできる医療には限界と感ぜられる症例もありその状況に応じて紹介患者を快く引き受けていただきとても感謝しております。病診連携が叫ばれる中、飯田市立病院では地域連携室を経由したスムーズな紹介システムにより、患者さんを紹介できることは大変心強いことです。又詳細に書かれた返書を提供いただき診療に関わった先生方には

とても感謝しております。病診連携における逆紹介を受けるにふさわしい医療機関として日々自己研鑽が必要と考えております。今後ともよろしく願いいたします。



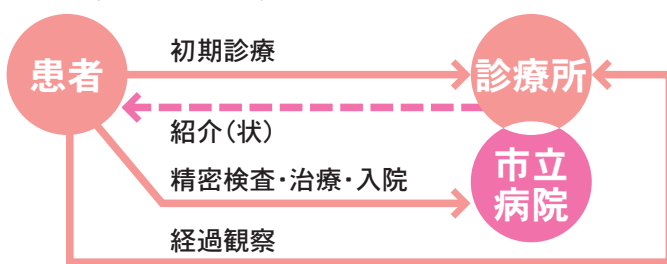
須田先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地	〒395-0001 飯田市座光寺3440 ☎0265-21-1071
診療科目	内科
受付時間	9:00~12:00 15:00~18:00
往診	可
休診	水曜日午後 土曜日午後 日曜日 祝日
駐車場	有



飯田市立病院では、「かかりつけ医」の先生方との医療連携を積極的に行っています。当院での治療が完了したときや、病状が安定したときは「かかりつけ医」の先生に診ていただくことをお勧めしています。かかりつけ医に関するご相談は、受診時にお気軽におたずね下さい。

医療機関の連携の流れ



家庭でできる リハビリテーション

その13

生活の中にある、 “リハビリテーション”の要素

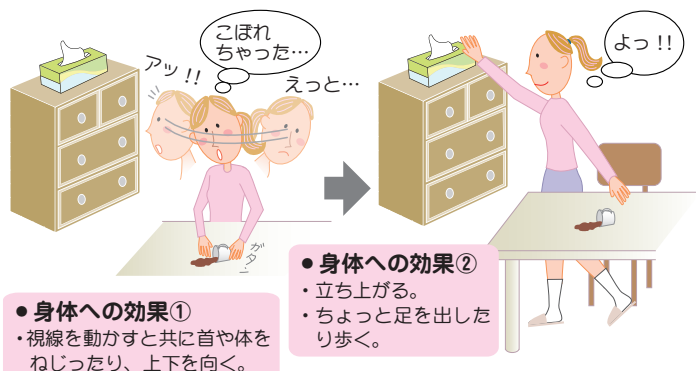
『生活することがリハビリです』という言葉も、時々耳にするでしょうか。これは応援のセリフとしても使いますが、実は、本当にリハビリ効果もあります。

生活の中の活動は、ほとんど自分が身体を動かして行なわれるものです。それは“リハビリ”や“トレーニング”でイメージされる動きよりも、身体のいろんな部分を使えるので有効です。

例えば ①お洗濯の場面。



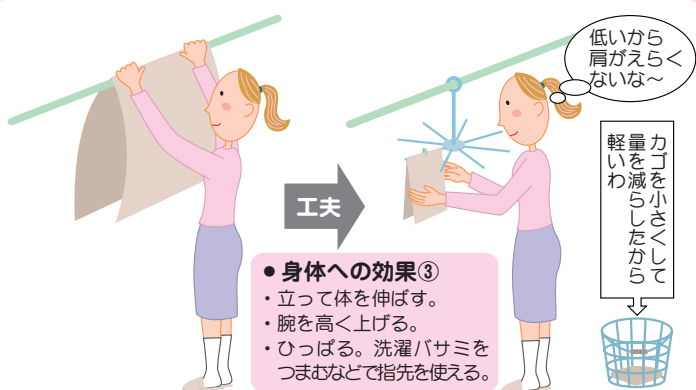
些細な場面として、②ティッシュが欲しくなった時の場面。



少しの動きや力ではありますが、よくある場面の中で、このように身体を使っています。

自分で自分の身体を動かすことは、筋肉や関節の柔軟性を出し、筋力をつけることにつながります。これは病気やけがの後の時期や状態によりませんが、“自分で動かさないと”、得られない効果です。これは不具合の生じた部分と、健康な部分の両方共にです。

ただ、今までと同じに行おうとするとできないこともありますから、少し工夫をするとよいです。例えば、お洗濯場面です。



また活動には、記憶や判断なども自ずと使われます。『お料理を続ける人に認知症が少ない』と言われているのは、それもあると思います。身体だけでなく、“頭”にも良い効果があります。

このように日常場面は、身体を動かせる“リハビリ効果”がたくさんあります。また、自分でできることは、どんな人にとっても、何にも変えがたい、嬉しく楽しいことです。

どの位まで自分でやってよいかは確認が必要ですが、それに合わせて、少し“頑張って”、でも“無理をせず”やってみて下さい。



検査の窓

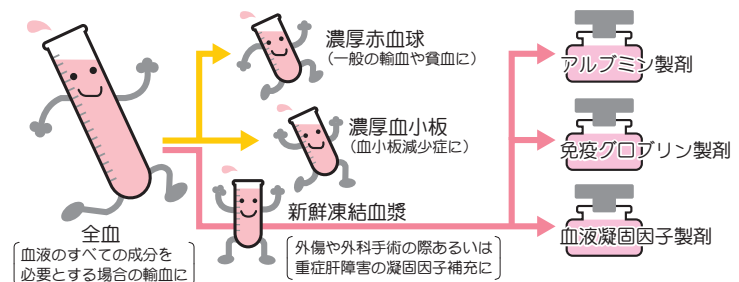
その15

成分輸血について

血液中の酸素を運ぶ成分である「赤血球」や出血した時に血液が止まるように働く成分の「血小板」、「凝固因子」等が貧血や手術時の出血などで不足した時にその成分を補充する目的で輸血が行われます。近年、血液の全成分を輸血する全血（ぜんけつ）輸血に代わって献血された血液を赤血球、血小板、血漿（けっしょう）などの成分に分け、患者さんが必要とする成分だけを輸血する成分輸血が多く行われています。

成分輸血は全血輸血に比べて輸血される血液の量が少ないため心臓への負担が

軽くて済み、限りある医療資源である献血を有効に活用することができます。当院でも貴重な血液製剤を有効に活用するため日々の業務に取り組んでいます。



シリーズ ● 職場紹介 ● その24

【在宅ケアステーションの紹介】

在宅ケアステーションには、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションの3部門があります。

在宅介護支援センターでは、介護支援専門員2名が介護が必要になった方に対し、介護保険の居宅介護支援サービスを利用できるようにケアプランの作成や相談・助言を行っています。

訪問看護では、看護師がかりつけ医と連携し、24時間安心の看護システムで利用者様の在宅生活を支援しています。

訪問リハビリでは、外出してリハビリをすることが困難な方に対して、理学療法士がご自宅に訪問し、生活場面を考慮した実践的なリハビリを行っています。

最近は、医療・介護を在宅でと希望される方々が増えて

おり、それぞれの専門職が協力し病気や障害があっても安心して療養できるよう支援しています。



話題の広場

フルマラソン 見事完走！ 第12回長野オリンピック記念長野マラソン大会 4/18(日)

第12回長野マラソン大会が開催され、飯田市立病院研修医の舟橋秀利、小林惇一の2選手が出場。見事42.195km完走を果たしました。舟橋選手は男子の部トップ100に入る好成績でした。



舟橋医師(左)と小林医師(右)

あ と が き

七年に一度の飯田お練りまつり。この3月26日から3日間丘の上市街地を練り歩き、多くの見物客を魅了しました。市立病院職員も多数がこの地域の伝統行事へ出演団体の一員として参加しました。日々の厳しい稽古の積み重ねでようやくあの見ごたえのある「見世物」が完成するとのこと。私たちが提供する病院サービスも、やはり日々の努力の積み重ねが患者さんの満足度向上につながるのだと改めて感じました。

編集委員 丸山晃治



新任医師の紹介 平成22年4月1日



内分泌内科

中嶋 恒二

(なかじま こうじ)
平成3年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
伊那中央病院



産婦人科

芦田 敬

(あしだ たかし)
平成5年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



小児科

佐野 葉子

(さの ようこ)
平成7年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
藤田保健衛生大学



消化器外科

水上 佳樹

(みずかみ よしき)
平成9年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
山梨大学



外科

服部 亮

(はっとり りょう)
平成12年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
大阪大学



腎臓内科

三井 憲

(みつい けん)
平成12年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
中津川市民病院



消化器内科

武田 龍太郎

(たけだ りゅうたろう)
平成14年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



臨床検査科

浅香 志穂

(あさか しほ)
平成19年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



耳鼻咽喉科

岩佐 陽一郎

(いわさ よういちろう)
平成19年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



産婦人科

堀澤 信

(ほりさわ しん)
平成19年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院



麻酔科

小池 康志

(こいけ やすし)
平成20年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
飯田市立病院(研修医)



歯科口腔外科

盛岡 昌史

(もりおか まさし)
平成20年卒業
平成22年4月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院

研修医



関口 智裕

(せきぐち ともひろ)
平成21年卒業



森 健太郎

(もり けんたろう)
平成21年卒業



塩見 由紀

(しおみ ゆき)
平成22年卒業



高橋 千暁

(たかはし ちあき)
平成22年卒業



増尾 仁志

(ますお ひとし)
平成22年卒業



松村 伸

(まつむら しん)
平成22年卒業



小林 惇一

(こばやし じゅんいち)
平成22年卒業



山内 翔子

(やまうち しょうご)
平成22年卒業



舟橋 秀利

(ふなばし ひでとし)
平成22年卒業



原 寛彰

(はら ひろあき)
平成22年卒業

近くの「かかりつけ医」を持ちましょう。市立病院へ初診で来院される場合、かかりつけ医からの紹介による事前予約があると待ち時間が短縮されます。